

# 生活デザイン

使用教科書・副教材	単位数	学年・学級・学科・選択名等
家庭総合 豊かな生活をともにつくる（大修館） ニュービジュアル家庭科資料+成分表（実教出版）	2	1年1, 2組

## 1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を実験や実習を通して体験的に身につける。</li> <li>・家庭や地域の生活課題を自分の力で解決できるようになり、生活を充実・向上させようとする態度を身につける。</li> </ul>
---------	---

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
前期	4	オリエンテーション	1	・学習内容、授業の受け方、評価方法について知り、到達目標を理解する。	○				ワークシート	
		第1章 人生をみつめる	3	・人の一生を理解し、自立や自己実現に必要な土台をどのように築くのか、様々な視点から考える。	○	○			ワークシート	
		1 人生を展望しよう								
	5	2 家族・家庭をみつめよう	5	・現代の家族の特徴について理解し、家庭の機能や家族・家庭の法律を理解する。				○	ワークシート 小テスト	
		3 家庭生活と社会について考えよう	2	・社会保障制度や社会福祉、地域社会の役割を知りサービスの利用や情報収集の方法を知る。		○			ワークシート	
	6	第3章 高齢期を生きる	2	・高齢者の心身の特徴と生活を体験実習を通して理解する。	○	○			レポート	
		1 高齢者の生活をみつめよう								
		2 高齢者の福祉について考えよう	5	・高齢者福祉の考え方や制度について理解し、高齢者の日常生活活動における基本的な介助方法を身につける。				○	○	実技テスト ワークシート
		前期中間考査							○	定期考査
		3 高齢者とともに生きる社会	1	・豊かな高齢期のために、家族や地域が果たす役割について考える。	○	○			ワークシート	
	7	第4章 共生社会の一員として生きる	3	・ノーマライゼーションの考え方を知り、福祉やボランティア活動に関心を持つ。 ・自分の住んでいる地域の活動を調べ、共生社会の一員として参加する意義を知る。	○	○			レポート	
		1 共生社会について考えよう 2 地域社会で活動しよう								
	8	第5章 経済生活を主体的につくる	5	・お金の流れを理解し、家計管理の必要性を理解する。				○	○	ワークシート 小テスト
1 家庭経済をみつめよう										
9	2 消費生活と意思決定について	4	・現代の消費生活の特徴を知り、消費行動における意思決定の重要性やプロセスを理解する。				○	ワークシート		
	3 消費者の権利と責任について	3	・消費者問題が起こる背景や特徴、被害救済制度について学び、消費者の権利と責任ある行動について考える。	○	○					
前期期末考査							○	定期考査		
10	第7章 衣生活をつくる	1	・被服の起源を知り、被服の果たす役割や被服を着る意義を確認する。	○					ワークシート	
	1 衣生活をみつめよう									
	2 健康で個性的な衣生活をつくらう	3	・被服の機能を知り、自分のライフスタイルや好みに合った衣生活の送り方を理解する。		○		○	ワークシート		

後期	11	3	つくる技術を身につけよう	7	・被服の構造が分かる。 ・様々な手縫いの縫い方ができる。 ・ミシンの使い方が分かる。 ・ミシンを用いて身にまとう衣類を工夫して製作できる。					作品提出 ワークシート 実技 作業記録表の記入		
	後期中間考査									○	定期考査	
		4	これからの衣生活を考えよう (ホームプロジェクト学習)	3	・被服の生産・消費・管理・再利用・廃棄をテーマにプロジェクト活動に取り組み、自らの衣生活の改善を目指す。	○	○	○	○		計画表提出 実践発表 記録表提出	
	12	第6章 食生活をつくる										
		1	食生活をみつめよう	1	・食事の役割や食文化の成り立ちを知り自らの食生活を点検し問題点や改善の方法を考える。	○	○				ワークシート	
		2	健康な食生活をつくろう	7	・栄養素の働きや食品の調理性を学び、何をどれだけ食べればよいかを知る。			○		○	ワークシート 小テスト	
	1	5	食事をつくろう (調理実習1～4)	8	・調理方法や調理器具の取り扱い方を学び、日常食の調理方法を身につける。	○			○		実技テスト 実習記録簿の提出 ワークシート	
	2	学年末考査								○	定期考査	
		3	3	安全な食環境を考えよう	3	・食品の購入方法や保存方法、衛生と安全について学び、適切な食品の取り扱い方を身につける。				○	○	ワークシート
	※「4 食文化」と「5 食事をつくろう（調理実習5～8）」「保育」「住居」「環境」は2年次に学習します。											

### 3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
内容	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活、衣生活、食生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	各単元の学習において課題を見出し、その解決を目指して考えを深め、適切に判断し、工夫し、創造する力を身につけている。また、それを表現できている。	各単元に関する技術を実験・実習などの体験的な学習を通して着実に身につけている。	各単元に関する知識を実験・実習などの体験的な学習を通して身につけている。
割合	10%	10%	30%	50%

#### 評価について

#### 学年末評定について

評価	評価点
10	100 ～ 93
9	92 ～ 85
8	84 ～ 77
7	76 ～ 70
6	69 ～ 61
5	60 ～ 53
4	52 ～ 45
3	44 ～ 38
2	37 ～ 30
1	29 ～ 0

評価	評価点
5	100 ～ 85
4	84 ～ 70
3	69 ～ 45
2	44 ～ 30
1	29 ～ 0

### 4 履修にあたっての注意事項

- (1) 授業道具の点検は毎時間行います。また、ノートは学習した時間内で整理してください（関心・意欲・態度）。
- (2) 定期考査とは別に実技試験を行います（技能）。
- (3) 移動教室へは遅刻しないようにしてください。
- (4) 提出物の期日は守ってください。